

ベトナムにおける地域密着型一般廃棄物管理への関与と行動の変化

MARGRET NANTONGO

キーワード: 地域社会の関与, 一般廃棄物管理, 地域密着型の固形廃棄物管理への取り組み, ベトナム, ホイアン市, ダナン市, 行動の変化, 態度

1. 研究背景と目的

固形廃棄物管理はベトナムのような発展途上国が直面している主要な課題である。ベトナムにおける固形廃棄物管理に関するこれまでの研究では、この問題に対する意識の不足や、不適切な方法での廃棄物処理及び地域社会による関与度合いの低さが主要な要因であると示されてきた。しかしながら、ベトナムにおける一般廃棄物処理に対する地域社会による関与についてはほとんど知られていない。本研究では、中央ベトナムに位置するダナン市及びホイアン市での2つの地域密着型一般廃棄物管理への取り組みにおける関与と行動の変化について取り上げる。この研究の目的は、地域社会の関与が居住者の行動変化に寄与する役割の評価をすることと、廃棄物管理の改善につながる個人々の知識、態度及び行動を変化させる上での課題を特定することである。また、この研究では2つの取り組みにおける住民の参加と行動の変化を促進させる上で複数のステークホルダーが果たす役割についても分析を行った。

2. 研究手法

研究に際しては、定性的手法・定量的手法を組み合わせた複合的な方法を用いてデータ収集を行った。まず始めにベトナムや他途上国における固形廃棄物管理活動と地域社会の取り組みについての文献調査に取り組み、続いて二つの研究対象地域において、主な関係者・関係組織への聞き取り調査を行うために現地を訪問した。現地調査では、61世帯に対して、各家庭の固形廃棄物管理活動への関与に関する詳細状況を把握するため、二つの自由回答を含む世帯調査を行い、定量的なデータを得た。関係者への聞き取り調査に関しては、地域社会のより良い固形廃棄物管理への実践従事方法に関して理解を深めるため、ダナン市では女性組合（Women's Union）のリーダー、ホイアン市ではプロジェクト管理委員会の代表と共に調査に取り組んだ。2016年9月から11月にかけての調査期間で周辺環境、住宅、廃棄物管理、その他の地域活動に関する予備調査を実施し、2017年9月に一次データ収集のための現地訪問を行った。

3. 結果と結論

両方のプロジェクトにおいて、地域社会の関与は問題に対する意識を促進し、変化へのインセンティブを付与することによって行動を変化させる役割を果たしていた。住民は、経済的または社会的資本における利益だけでなく衛生問題や人間の健康及び環境的健康のために廃棄物管理を行う価値があると理解するようになった。ホイアン市、ダナン市の Cam Ha 及び Cam Pho 地域では、廃棄物発生源における分別、有機廃棄物の自家菜園での堆肥化、道路の清掃と掘削、そして廃棄物のリユースとリサイクルについての教育といった活動に地域社会は従事していた。地域社会、政府及びその他ステークホルダー全ての積極的関与が重要であった。例えば、ホイアンでは JICA のような国際機構、協同的活動や地域の研究機関が関与しており、専門的技術や資金調達が可能である。しかし、ダナン市では、取り組みは依然として初期の段階であり、それほど多くのステークホルダーは関わっておらず、従って長期の持続可能性は不確かであると言える。